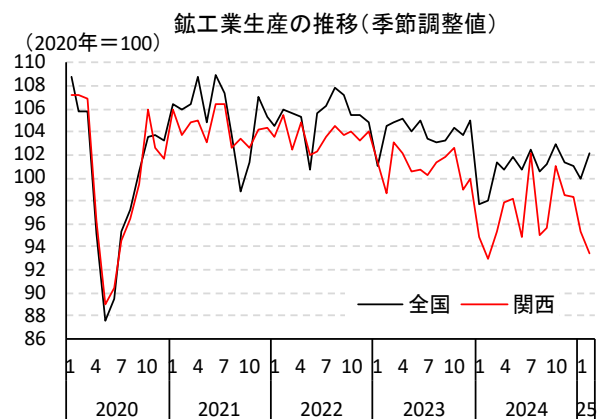
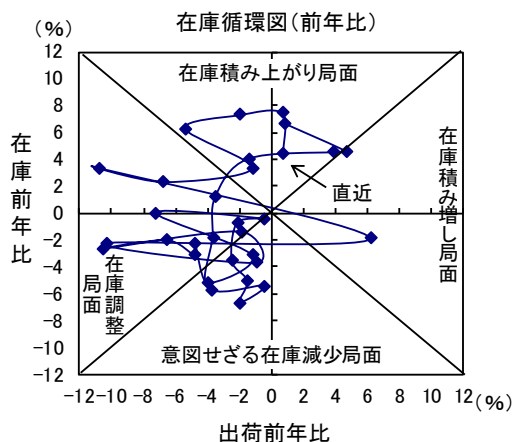
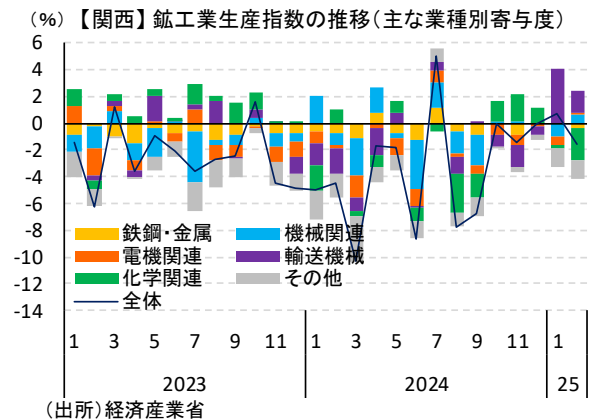
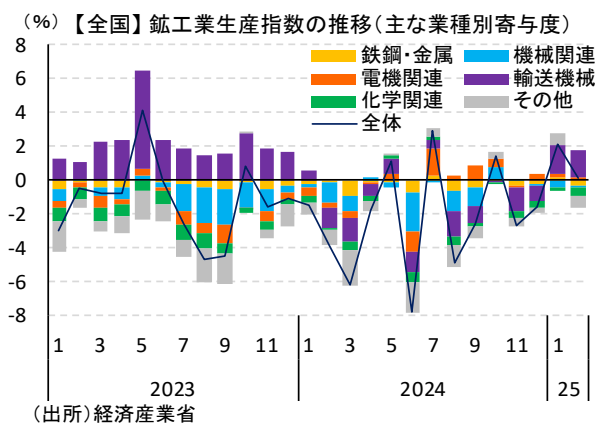


関西の景気トピックス【鉱工業指数（25 年 2 月）】

- 25 年 2 月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は前年比で 1.6%減と、2 か月ぶりの減少となった。業種別には自動車関連が前月に続いて増加したものの、医薬品を中心とした化学関連の減少などが全体を押し下げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月に続いて、需要が企業の予測を下回り、在庫が積み上がってしまう「在庫積み上がり局面」となっており、今後の推移が注目される。
- 近年の関西の生産動向をみる限り、個別要因での一時的な増加を除き、前年を下回る傾向が続いている。電機関連や機械関連といった関西が強みをもつ分野にも力強さが感じられない。2020 年以降の推移でいえば、直近の水準はコロナ前を大きく下回るだけでなく、減少トレンドに対して底を打つ気配はないなど、厳しい動きが続いている。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。